

シカ不嗜好性植物を活用した法面緑化

シカに食べられにくい国内産在来種を播種工で導入

■ 特長

- シカが好まない不嗜好性植物を使用して、獣害（シカによる食害と踏み荒らし）を防止します。
- イネ科外来牧草類による従来の法面緑化は、シカの餌場を作ってしまう可能性があります。
- RSセンターでは、シカ不嗜好性植物の国内産在来種子を供給できる体制を整えています。

※シカの食性は地域間による違いがあり、シカ不嗜好性植物であっても全く食べられないということではありません。

※シカの生息密度の高い地域では、物理的な対策が必要です。



施工1年5ヵ月後（愛知県：シカの生息する地域でチカラシバ、ススキなど導入した法面）

■ シカ不嗜好性植物の一例



クサギ
落葉広葉樹／日本全土



アキグミ
落葉広葉樹／北海道～九州



センダン
落葉広葉樹／中部以西



ススキ
多年草／日本全土



チカラシバ
多年草／日本全土



カゼクサ
多年草／本州～九州

※他の植物については、お問い合わせください。

■ シカ不嗜好性植物を活用した事例

- 施工地：広島県広島市
- 目的：獣害で裸地化した法面の再緑化
- ナンキンハゼは総合対策外来種ですが、人為的攪乱をすでに受けている地域では獣害対策として有効です。



施工前（獣害で裸地化した法面）



施工11年4ヵ月後（樹高3～5mのナンキンハゼ林）